

## 令和5年度 第4回 学校運営協議会 議事録

|     |                          |
|-----|--------------------------|
| 校名  | 府立富田林高等学校<br>府立富田林中学校    |
| 校長名 | 高等学校長 田中 肇<br>中学校長 大門 和喜 |

|         |                                     |
|---------|-------------------------------------|
| 開催日時    | 令和6年3月2日(土) 15:00 ~ 17:00           |
| 開催場所    | 府立富田林中学校・高等学校 校長室                   |
| 出席者(委員) | 津田会長、石井副会長、大谷委員、楠本委員、笠原委員           |
| 出席者(学校) | 田中高校校長、大門中学校長、國近高校教頭、鍵田事務長、田中(事務局長) |
| 傍聴者     | 東京都立立川国際中等教育学校 副校長 小澤 信敬            |
| 協議資料    | ・地域フォーラムの振り返り                       |
| 備考      |                                     |

|   |  |
|---|--|
| 議題等(次第順)  |  |
| <p>中学校長より<br/>文科省から探究の調査研究協力校の依頼を受けた。<br/>委員の先生方には、来年もぜひアドバイスいただきたい。</p> <p>高校校長より<br/>地域フォーラムについてご意見いただきたい。発表班が多く、一方で各班が、いままでどんな研究をしてきたかがわからなく、行き当たりばったりで発表を聞いている節がある。プリントではなく、冊子を作るべきか。</p>   |  |
| 協議内容・承認事項等(意見の概要)   |  |
| <p>○人が集まらなくて、困っている班があった。一方で、スライム作りや楠本委員の生け花教室については参加人数が多く、補助スタッフは増やしたが、十分に対応できなかった。運営側で工夫はできないのか？<br/>→聞き手の問題もあると思う。(聞き手のレベルが上がれば、発表の本質が見えてくる。)</p> <p>○先生がもっと質問しないといけない。先生が質問のレベルを上げていかないといけない。</p> <p>○今日の場は、生徒の姿が見える舞台である。生徒自体がこの発表をどのように位置づけているのか？を確認してみることが大切。</p> <p>○企業名で呼び込みをしていた。これについては、いい面と悪い面がある。動機はしっかりしている。大阪で地域参画型は難しいがよくやっている。SSHなどはGL10校などは高大連携で持続しやすい。学びのプロセスが語れることが大事。試行錯誤のプロセスが語れるか、が大事。問いの連鎖。</p> <p>○中1～中3の探究のプロセスを逆にするのもいいのでは？(最終的に地元企業に提案する。)</p> <p>○発表者が多すぎて、全てを深く理解するには難しい。</p> <p>○これだけフィードバックを貰える機会を貰えるのは素晴らしい機会である。</p> <p>○どんな力をつけさせたいか？(目標)を明確にすることが大事。めざす生徒の姿(学校のあるべき姿)を見失っている事が多い。カリキュラムは生徒が歩いた道。目標は立てて終わりではなく、意識し続けることが大事。広島中高、奈良中高は目標との連結ができています。</p> <p>○文献や下調べが甘い。先行研究がきっちり調べられていないことが多い。ダイジェスト資料など、手持ち資料がない。高校は企業との連携を活かせていない。</p> <p>○オリジナリティを全面に出すと、逆に薄い内容になる。中高の生徒は論文を入手できない。お金をかけるなら、チューターに付けるべき。研究の伴走者になるには、大学院生くらいがちょうどよい。</p> <p>○インターネットで検索した内容を見ても、限界がある。そのことに気づくことも大事。</p> <p>○学校の先生がアドバイスをするには限界がある。ナナメの関係の人が大切。</p> <p>○研究のレベルはそこまで気にしなくていいが、生徒のものを考える力の変容をしっかり見ることが大事。総合型選抜のため、きれいな研究が増えているが、最終的には口頭試問で力が問われる。非認知学習に囚われすぎないことも大事。</p> |  |

|         |           |
|---------|-----------|
| 次回の会議日程 |           |
| 日時      | 来年度の日程は未定 |
| 会場      |           |